



期間 令和6年10月16日(水)～令和6年11月6日(水) [全4回]

実施場所 九州国際大学地域連携センター(サテライトキャンパス)
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ2階 (39ページアクセス参照)

**申込・
問合せ先** 九州国際大学地域連携センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3
TEL:631-2203 FAX:631-2204

時間 18:00～19:30

応募締切

10月2日(水)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 30名

受講料 4,000円

受講生への
メッセージ

実施機関：九州国際大学地域連携センター

インドネシアは、人口2億7千万人で世界第4位の大国で、経済成長や社会発展も目覚ましい国です。近年、同国からの技能実習生や特定技能で働く人が増え、現在、福岡県には3,000人以上のインドネシア人が滞在しています。

インドネシアは人口の約9割がムスリム（イスラム教徒）であるため、同国からの留学生や就労者を受け入れていくためには、ムスリムの食習慣や宗教的な慣習、価値観などを理解し、日本社会が配慮する体制を整えていく必要があります。

本講座では、インドネシアについての基礎知識、イスラム文化について、そしてムスリムを学校や職場で受け入れていく際に必要となる配慮などについてお話します。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	10/16 (水)	インドネシアの歴史と文化について 多様性の中の統一をモットーとするインドネシアの多文化社会の現状を理解します。	九州国際大学 現代ビジネス学部 教授 大形 里美 東京外国語大学インドネシア・マレーシア語学科でインドネシア語を学び、1987-89年インドネシアのイスラム系大学に留学。 2000年より、九州国際大学専任教員
2	10/23 (水)	イスラム文化について とりわけ中東のイスラム文化のあり方などと比較しながら東南アジアのイスラム文化のあり方についてお話します。	
3	10/30 (水)	「ハラール食」について イスラム教徒の食のタブーを理解するため、インドネシアのムスリムたちの「ハラール食」についての多様な考え方を理解することを目指します。 ※「ハラール食」=イスラム教徒が食べることを許されている飲食物のことを意味します。	
4	11/6 (水)	ムスリム受け入れ時の配慮について 学校や職場、観光地でムスリムを受け入れる際に必要とされる配慮などについてもお話します。	

スポット受講

詳細は2ページ

料金

1,000円/回

初回のみ